

呼吸器内科

| | | |
|-----------------|---|----------------|
| 当該診療科の特長 | 呼吸器疾患は人口の高齢化とともに増加の一途をたどっている。当院は神戸市北区で唯一呼吸器(内科)専門医・指導医が常勤する病院として、当地域における呼吸器診療の中心的な役割を果たしている。しかしながら、呼吸器専門医はいまだ全国的に不足している状態にある。 | |
| プログラムの特長 | 当科が対象とする疾患は、肺癌をはじめとした腫瘍、感染症、免疫・アレルギー性疾患、びまん性肺疾患など多岐にわたり、かつ日常臨床において遭遇することも多い。また幅広い疾患や分野を扱うため、全身を診ることや他診療科と関わりも多い。 当院呼吸器内科の専門研修では、将来的に呼吸器専門医資格を取得するべく、学会が定めるカリキュラムに基づき必要な経験を積むことができる。 | |
| 到達目標 | <p>【3年間で到達すべき目標】</p> 血液検査、動脈血液ガス分析(実施を含む)の解釈が正しくできる。 画像検査(胸部X線、CTなど)を正しく読影できる。 呼吸不全に対する酸素療法(人口呼吸管理を含む)を適切に実施できる。 胸腔穿刺・ドレナージ、胸膜癒着術を実施できる。 気管支鏡検査が実施できる。 薬物療法(抗菌薬、吸入薬、全身ステロイド、抗癌剤など)を適切に実施できる。 初期研修医への基本的な指導ができる。 呼吸器専門外来を担当できる。 学会や研究会などに積極的に参加し発表も行う。 院内や院外の医療安全・医療倫理の講習会に積極的に出席する。 | |
| 研修期間 | 3年間(※うち当院では1年～2年間) | |
| 取得可能な資格等 | 学会名 | 取得可能な資格 |
| | 日本呼吸器学会 | 呼吸器専門医 |
| | 日本呼吸器内視鏡学会 | 気管支鏡専門医 |
| 指導体制 | 指導医：1名 | |
| その他 | 新専門医制度において、当院は京都府立医科大学を基幹施設とした呼吸器専門研修プログラムの連携施設となっている。当院で1年～2年間の研修を行い、残りの期間については京都府立医科大学(および他の連携施設、関連施設)で研修を行う。 | |